

世界のギノザンチュ

いみん れきし
 ～移民の歴史について～



世界のギノザンチュとは...

世界のいろいろな所へ引っ越しをして住み続けている宜野座村出身者たちのこと(子孫も含む)

移民とは...

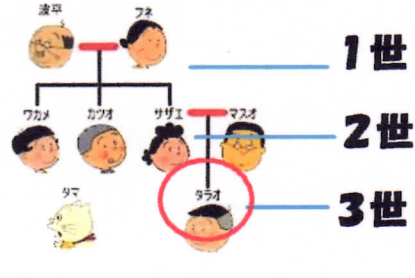
生まれた国から外国に引越して生活をする人たちのこと。

昨年の研修生を覚えていますか?



彼らも移民の1人

波平さんがハワイへ移民していたら、たらちゃんは何世?



なぜ、研修生が毎年ここへ来るの?

○研修生たちは、自分のおじい・おばあちが生まれ育ったところや沖縄の親戚のことがあまりわからない。

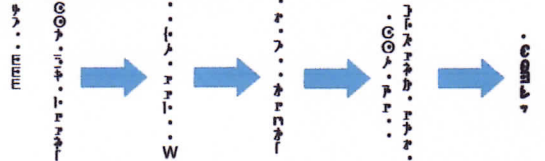


母村の宜野座村に来て、村のことやいろいろなことを学ぶ

なぜ彼らの先祖は移民したの?

- ◆出稼ぎ(仕事探し)
- ◆親戚からの呼びよせ

※当時の日本では、どんなに働いても、もらえる給料が少なかった。



いつ頃から移民は始まったの?

1900年: 沖縄からの移民が始まる(ハワイ26人)
 1904年: 宜野座村からの最初の移民(ハワイ9人)



現在(2016年時点)

約415,000人のウチナンチュが世界で暮らしている

海外のギノザンチュの人数は約1,600人

海外では日本人の信頼が高い

- ・真面目
- ・嘘をつかない



利用

ウチナンチュは知恵を使って商売に成功する。

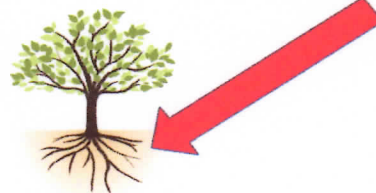
移民が始まった当時の状況は?

- ・言葉... 通じない (英語・スペイン語・ポルトガル語・フィリピン語など)
- ・生活習慣... 食べ物や文化なども全く違う

※つらいことがあっても、ウチナンチュは持ち前の明るさで乗り越えた。そして、海外でお金をいっぱい稼いで、各国の発展にも尽くした!

そんな苦勞をしてきた移民者たちの孫・ひ孫が

毎年宜野座へ来て、自分のルーツを知る!



研修の内容

- ・日本語講座
- ・三輪講座
- ・琉球舞踊講座
- ・地域行事への参加、村民との交流 (青年エイサー、敬老会、豊年祭、宜野座村まつりなど)

→ 研修を通して、自分のルーツを確認します。

おわりに

- ① 毎年どここの国から研修生たちが来ていますか。
 → ペルー、アルゼンチン、ブラジル、ハワイ
- ② 研修生のひいおじいちゃんやおばあちゃんたちは、海外で暮らし始めたとき、どのような生活をすごしていたのか。
 → 苦しい生活でしたが、がんばってお金持ちになった
- ③ 研修生たちは何のために宜野座村へ来るのか。
 → 自分のルーツを知るために